

いしのまき かなん
国道108号 石巻河南道路

資料 1

計画段階評価
第3回 説明資料

目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ	・ ・ ・ 1
2. 第2回意見聴取の結果	・ ・ ・ 5
3. 対応方針（原案）の検討	・ ・ ・ 21
4. 自治体への意見照会結果	・ ・ ・ 26
5. 対応方針（案）のまとめ	・ ・ ・ 28

国土交通省 東北地方整備局
令和2年7月1日

1. 計画段階評価の検討の流れ

1-1. 評価対象区間

○対象区間は石巻市蛇田の国道108号の起点となる国道45号接続部から石巻市北村に至る延長約11kmの区間。

【図1】評価対象区間周辺の整備状況



◇第27回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日：令和元年12月4日（水）開催

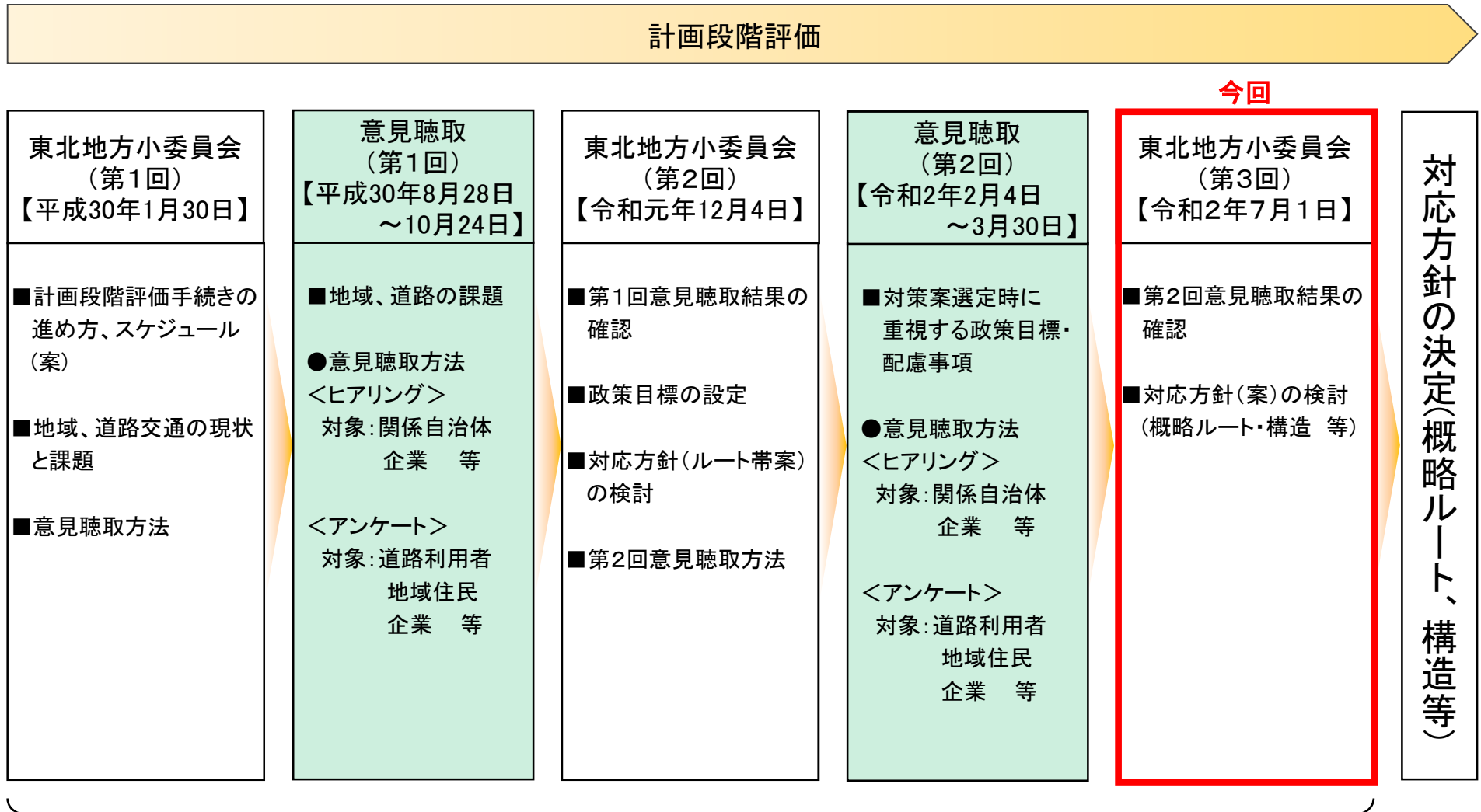
- 主な議事：①地域の意見聴取（第1回）結果の確認
②政策目標の設定
③対応方針（ルート帯案）の検討
④地域の意見聴取（第2回）の方法

◇前回審議にあたって主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
<ul style="list-style-type: none">アンケートの回収率が低いことについての要因を把握したうえで、アンケートの回収率を上げるための方法について検討すること。	<ul style="list-style-type: none">アンケート実施後に、自治体に聞き取りを行った結果以下の意見が得られた。<ul style="list-style-type: none">アンケートが分かりにくい自分には関係ないと思った郵送の方が回答してもらえるのではないか以上の意見等を踏まえ、アンケートの回収数を上げるため、以下の対策を実施した。<ul style="list-style-type: none">イラストの挿入、分かりやすい表現などにより、回答しやすいアンケートにした新聞広告・自治体広報誌などの広報を追加で実施した地区ごとの利用実態を確認し、対象区間の利用が多く見込まれる地区は、全戸郵送配布、その他の地区は、抽出郵送配布とした地域の平均世帯人員を参考に、ハガキの封入枚数を2枚から3枚に増やした

1-3. 計画段階評価の進め方

■計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)



地方小委員会

2. 第2回意見聴取の結果

2-1. 第2回意見聴取の実施内容

○意見聴取はアンケート調査及びヒアリング調査を以下のとおり実施。

意見聴取期間：令和2年2月4日(火)～令和2年3月30日(月)（約2ヶ月）

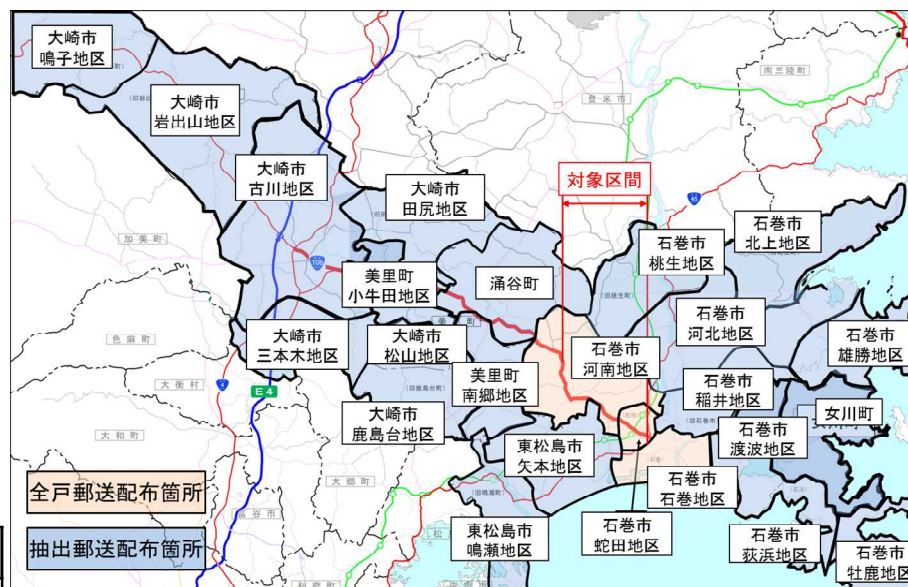
【表1】アンケート調査票の回収状況

調査票形式		配布回収数		
		配布数※1	回収数※2	回収率※2
地域住民・ 道路利用者	郵送配布・ 郵送回収	51,825	5,976 (13,730)	11.5%
	留置き※3	-	716	-
	WEB	-	539	-
	合計	-	7,231 (14,985)	-
事業者等	郵送配布・ 郵送回収	593	252	42.5%
	WEB	-	56	-
	合計	-	308	-

※1：住民アンケートの配布は世帯単位で実施。1世帯当たり回答ハガキを3枚同封
 ※2：回収数・回収率は、配布したアンケート調査票の回答ハガキのうち1枚目の回収数・回収率
 （ ）内の回収数は1枚目・2枚目・3枚目の回答ハガキを合計した回収数
 ※3：留置きは、意見聴取実施地域の市町役場・各支所、県合同庁舎、道の駅等にアンケート用紙と回収ボックスを設置し、その場で回答できるようにした

【表2】ヒアリング調査の対象

分類	対象数	分類	対象数
教育機関	8	福祉団体	2
自治体	6	トラック協会	9
観光協会	5	商工会、商工会議所	8
主要企業	13	消防機関	2
医療機関	2	農業協同組合	2
バス事業者	2	日本自動車連盟	1
タクシー協会	1	観光事業者	3
合計			64



※全戸郵送配布箇所…石巻市石巻地区・蛇田地区・河南地区
 抽出郵送配布箇所…石巻市(上記3地区以外)・東松島市・女川町・美里町・涌谷町・大崎市

2-2. 意見聴取に関する広報の実施状況

- ①新聞広告：宮城県内で発行部数の多い新聞（河北新報）にアンケートへの協力を呼び掛ける広告を掲載
- ②ホームページ：国土交通省仙台河川国道事務所・自治体のホームページにアンケート調査を案内
- ③地域への情報提供：仙台河川国道事務所・県合同庁舎・市町役場・道の駅及び集客施設にポスターを掲示
自治体広報誌にアンケートへの協力を呼び掛ける広告を掲載

①新聞広告

河北新報(令和2年3月1日 朝刊)

国道108号 石巻河南道路に関するアンケート調査にご協力ください。

石巻市内の国道108号は、道路の幅が狭く急カーブも多いなど様々な課題を抱えています。生活と産業を支える幹線道路としての機能を強化するため、仙台河川国道事務所では「石巻河南道路」の計画検討を進めています。今回のアンケートは、地域にとって望ましいルート案を検討する際に、重視すべきことなどについてご意見を伺うものです。アンケートは全3問です。
(ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。)

アンケート実施期間 3月30日(月)まで

「郵便ポスト」もしくは、「回収ボックス」へ投函を。

- ①石巻市・東松島市・女川町・涌谷町・美里町・大崎市の一部のご家庭には、アンケート用紙を郵送配布しています。
- ②アンケート用紙は、仙台河川国道事務所、上記地域の各市役所・町役場・各支所・県合同庁舎・道の駅等にも置いてあります。備え付けの回収ボックスに投函できます。

インターネットによる回答

- ※「石巻河南道路 第2回アンケート」で検索
- ※仙台河川国道事務所や上記地域の自治体HPにあるバナーをクリック
- ※右記QRコードからもアクセス可能です。

お問い合わせ先 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査第二課
〒982-8566 宮城県仙台市太白区あすな町4丁目番60号 TEL.022-248-0048 http://www.thr.mlit.go.jp/sendai

②ホームページ

アンケート案内の掲載状況
(仙台河川国道事務所HP)



(石巻市HP)



③地域への情報提供

自治体広報誌への広告掲載状況
(市報いしのまき 令和2年3月号)



【アンケートはこちら】

一般の方 事業者の方

クリックするとアンケートの案内ページにアクセスします。

国道108号に関するアンケートにご協力ください

石巻市から秋田・山形へつながる国道108号石巻河南道路

「郵便ポスト」もしくは、「回収ボックス」へ投函を。

アンケート用紙は、仙台河川国道事務所、上記地域の各市役所・町役場・各支所・県合同庁舎・道の駅等にも置いてあります。備え付けの回収ボックスに投函できます。

インターネットによる回答

※「石巻河南道路 第2回アンケート」で検索

※仙台河川国道事務所や上記地域の自治体HPにあるバナーをクリック

※右記QRコードからもアクセス可能です。

国道108号 石巻河南道路ご意見募集!!

3/30まで

③地域への情報提供

ポスターの掲示状況
(セブンイレブン 河南広瀬店)



国道108号に関するアンケートにご協力ください ~石巻から山形・秋田へつながる「国道108号石巻河南道路」~

石巻市内の国道108号は、道路の幅が狭く急カーブも多いなどさまざまな課題を抱えています。生活と産業を支える幹線道路としての機能を強化するため、仙台河川国道事務所では「国道108号(石巻河南道路)」の計画検討を進めています。今回のアンケートは、石巻市にとって効果的なルート案を検討するにあたり、重視すべきことなどについてご意見を伺うものです。この機会に皆さんのご意見をぜひお聞かせください。

回答方法

- 「郵便ポスト」もしくは、「回収ボックス」へ投函を。
- ※一部のご家庭には、アンケート用紙をお送りしています。
- ※アンケート用紙は、市役所、各総合支所・支所、県合同庁舎、道の駅上品の簿にも置いてあります。備え付けの回収ボックスに投函できます。
- インターネットによる回答
- パソコンやスマートフォンでも回答できます。
- ※「国道108号 石巻河南道路」で検索
- ※仙台河川国道事務所のホームページにあるバナーをクリック
- 右記QRコードからもアクセス可能です。

アンケート回答期限 3月30日(月)まで

国土交通省 仙台河川国道事務所 調査第二課
022-248-0048

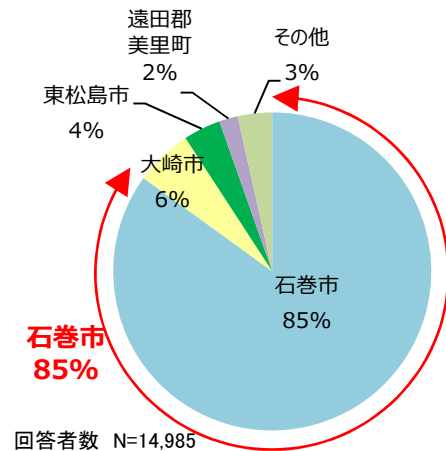
2-3. 第2回意見聴取の結果（アンケート調査）

- 住民アンケートでは、石巻市で85%、大崎市が6%、東松島市が4%を占め、今回の市町別アンケートの配布割合と概ね一致しており、偏りなく回答を得ることができた。
- 事業者アンケートでは、沿線の石巻市の回収率が約50%と高いほか県外の事業者からも回答を得られており、沿線地域外の事業者も関心が高いと推測される。

あなた御自身についてお聞かせください（住所）

住民アンケート

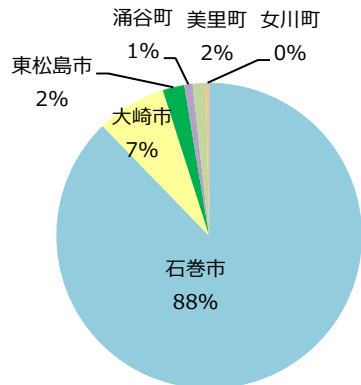
【図1】回答者居住地分布



【表1】居住地別回収数

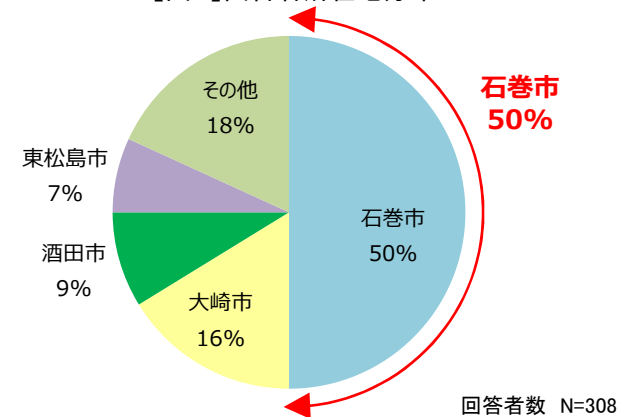
	回答数			合計
	郵便	留置き	WEB	
石巻市	11,878	519	337	12,734
大崎市	805	32	36	873
東松島市	487	62	22	571
美里町	237	25	20	282
涌谷町	166	10	10	186
女川町	86	15	10	111
無回答・その他	71	53	104	228
計	13,730	716	539	14,985

【参考】市町別アンケート配布数の割合



事業者アンケート

【図2】回答者所在地分布



【表2】所在地別回収数

	回答数		合計
	郵便	WEB	
石巻市	112	42	154
大崎市	46	4	50
山形県酒田市	22	5	27
東松島市	19	2	21
女川町	15	0	15
山形県鶴岡市	11	0	11
その他	27	3	30
計	252	56	308

※郵送配布数:593通

2-3. 第2回意見聴取の結果（アンケート調査）

9

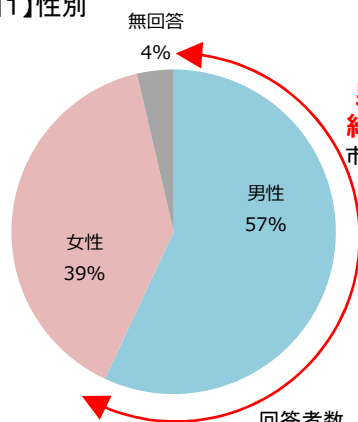
○住民アンケートの属性は、性別は男性が約6割、年齢構成は40～70歳代が約7割、職業は就業者が約5割を占めた。

○事業者アンケートの属性は、「運輸業」が約4割、「製造業」が約2割を占めた。

あなた御自身についてお聞かせください（住民：性別、年齢、職業 事業者：業種、職業）

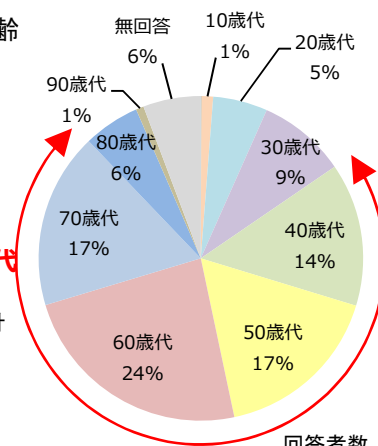
住民アンケート

【図1】性別



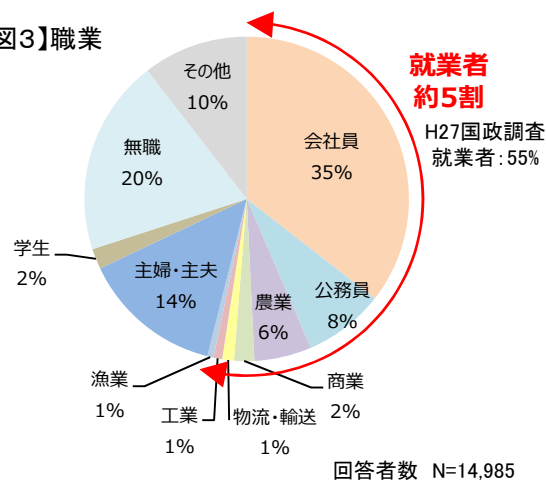
**男性
約6割**
市・町の統計
男性:49%

【図2】年齢



**40～70歳代
約7割**
市・町の統計
男性:54%

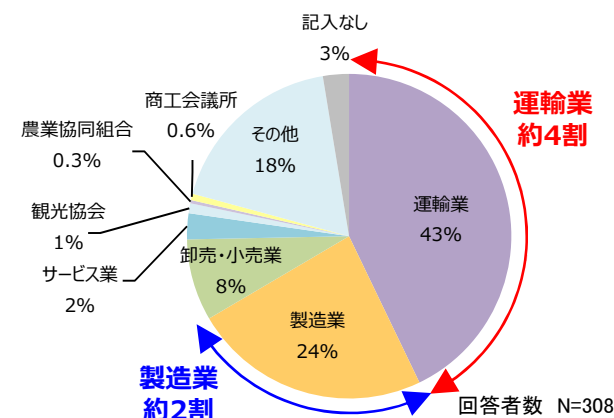
【図3】職業



**就業者
約5割**
H27国政調査
就業者:55%

事業者アンケート

【図4】業種



**運輸業
約4割**

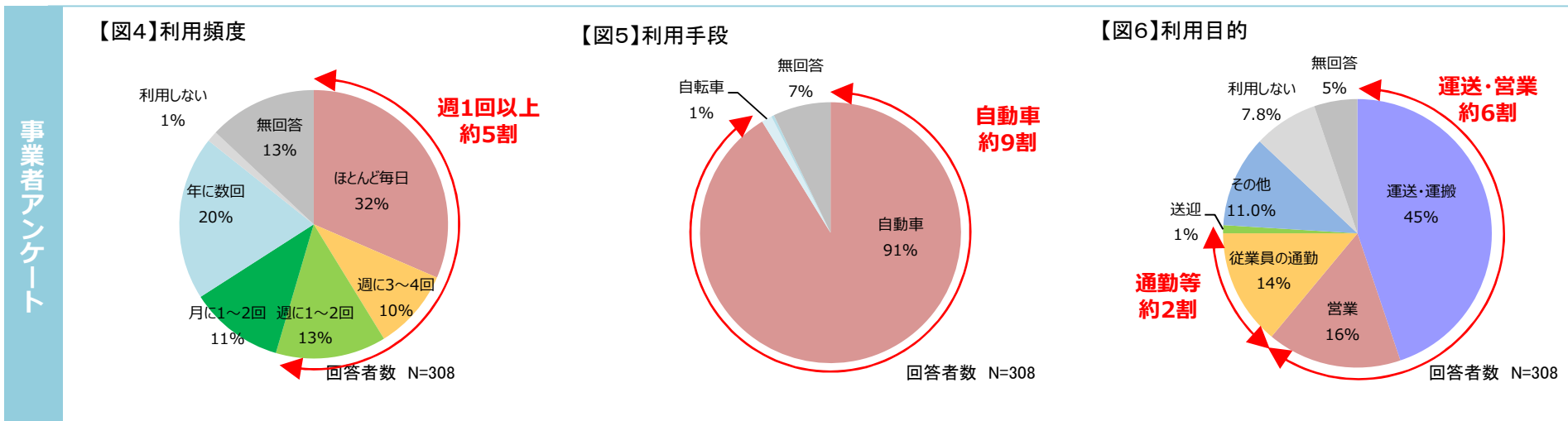
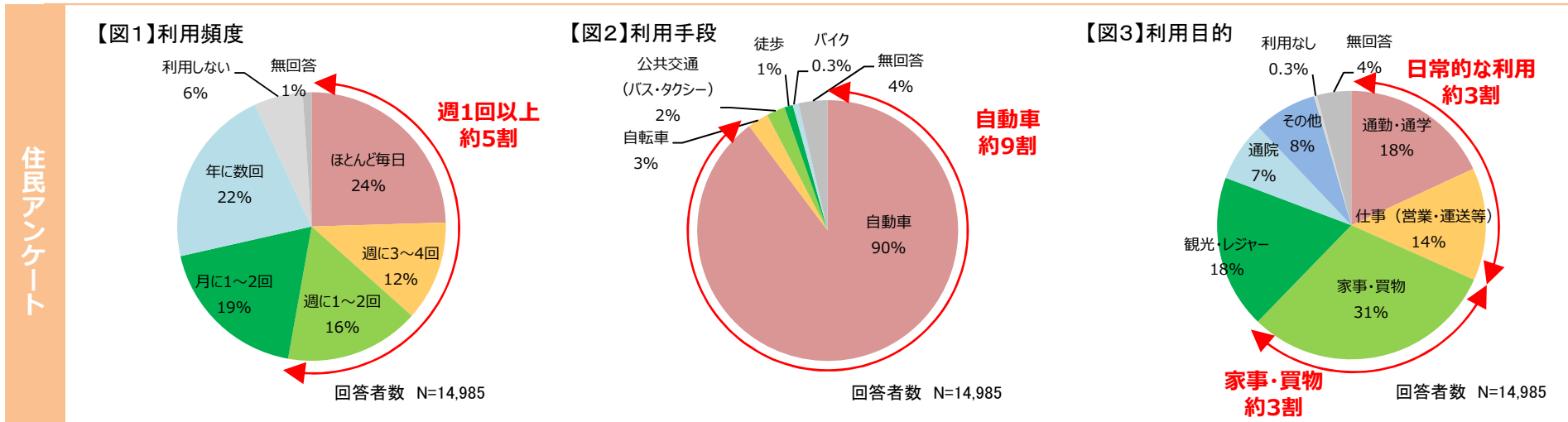
**製造業
約2割**

2-3. 第2回意見聴取の結果（アンケート調査）

10

- 利用頻度は、住民・事業者アンケートとも週1回以上の利用が約5割を占める。
- 利用手段は、住民・事業者アンケートとも自動車が約9割を占める。
- 利用目的は、住民アンケートでは日常的な利用が約3割、家事・買物が約3割。事業者アンケートでは、運送・営業が約6割、通勤等が約2割を占める。

【問1】 国道108号石巻市河南地区の道路利用について、お聞きます。



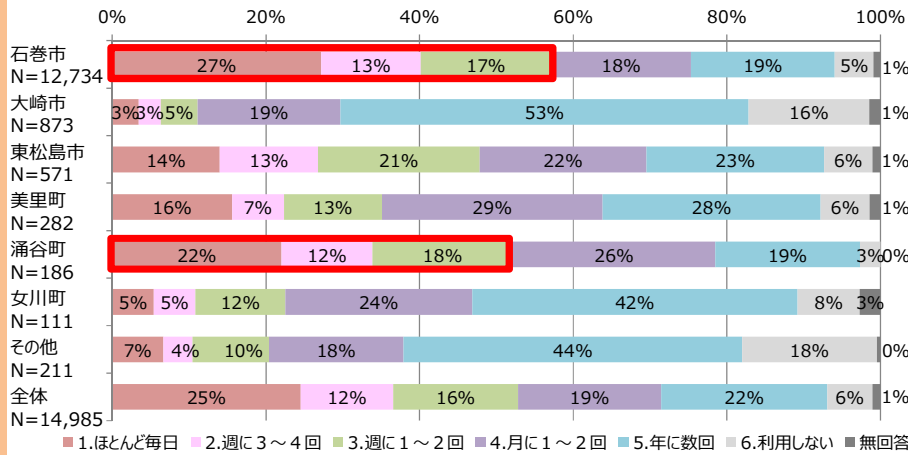
2-3. 第2回意見聴取の結果（アンケート調査）

○地域別の利用頻度で見ると、対象区間に近い石巻市、涌谷町の利用頻度が高い傾向にある。
 ○利用目的別の利用頻度を確認すると、住民では「通勤・通学」の利用頻度が多く、事業者では「従業員の通勤」の利用頻度が高い。

市町村別利用頻度

【図1】市町村別利用頻度

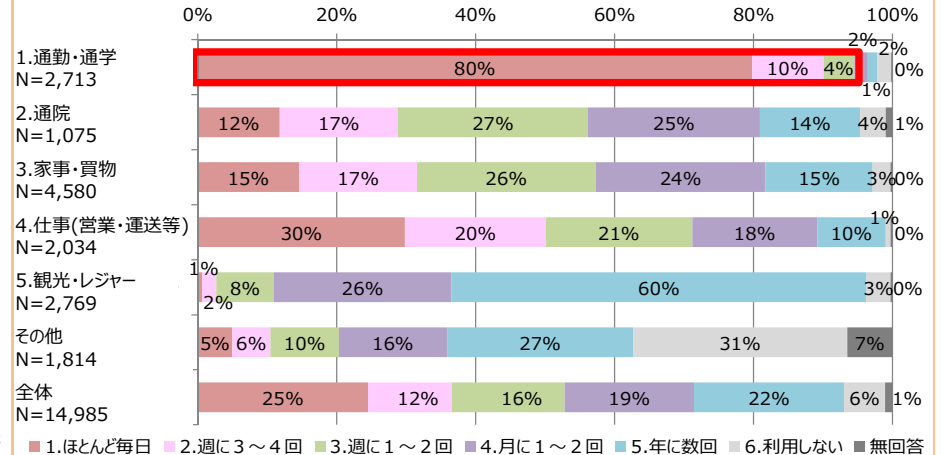
回答者数 N=14,985



利用目的別利用頻度

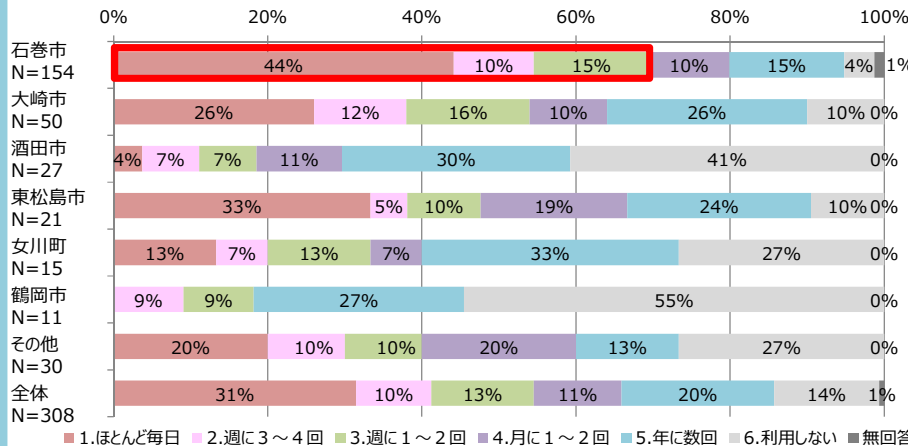
【図2】利用目的別利用頻度

回答者数 N=14,985



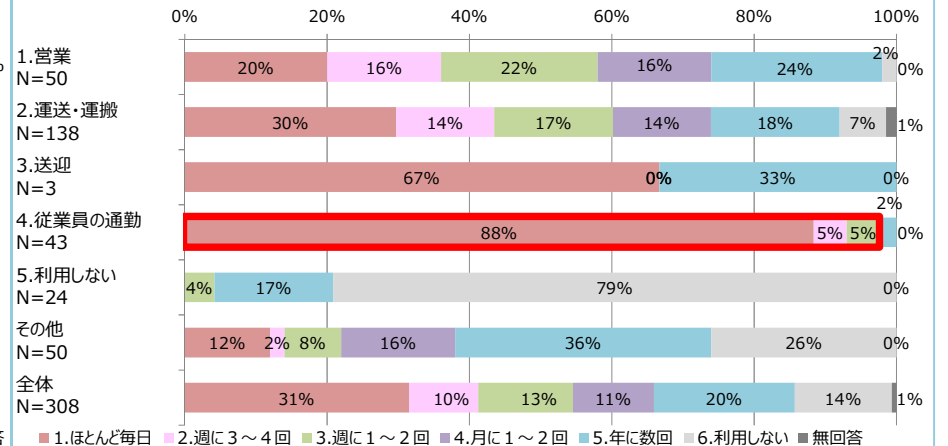
【図3】市町村別利用頻度

回答者数 N=308



【図4】利用目的別利用頻度

回答者数 N=308



住民アンケート

事業者アンケート

2-3. 第2回意見聴取の結果（アンケート調査）

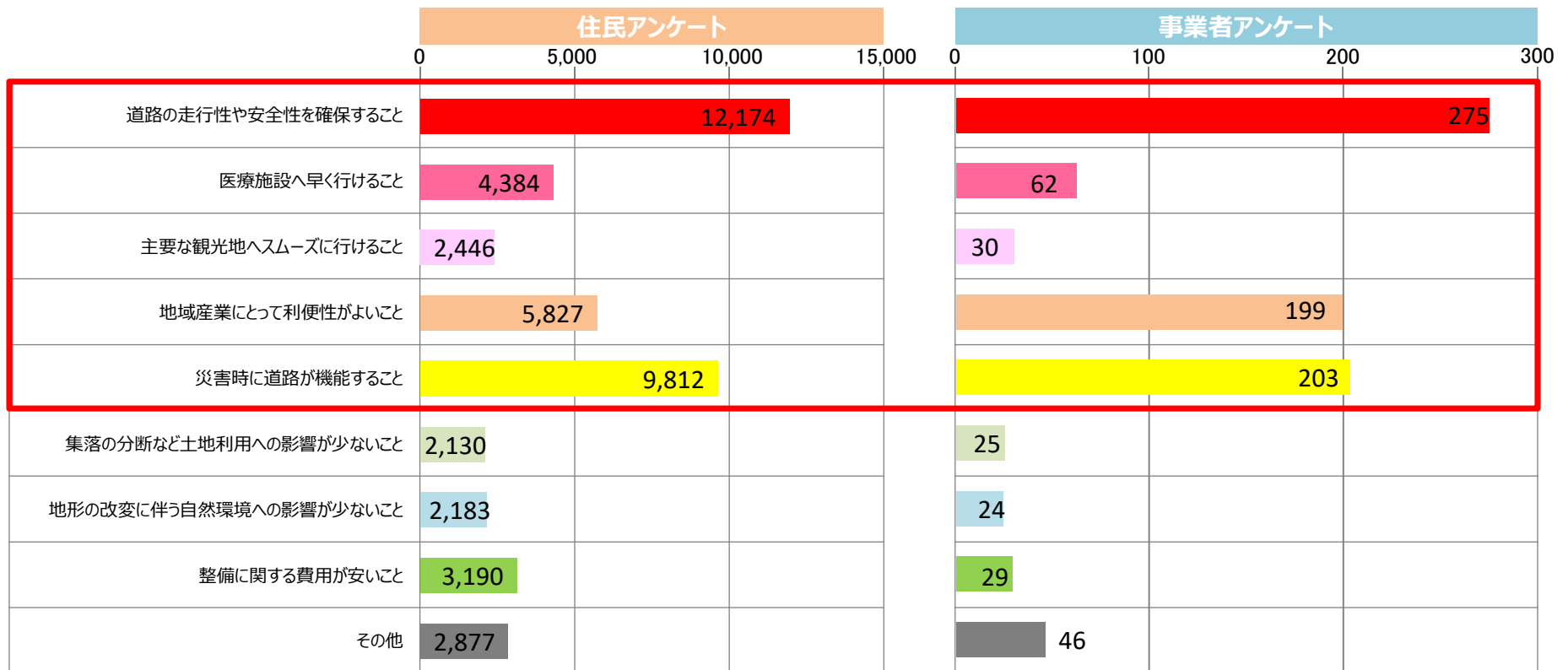
12

- 対策案を検討する際に特に重視すべき項目では、住民・事業者アンケートともに「道路の走行性や安全性を確保すること」と回答した方が最も多い結果となった。
- 次いで、住民・事業者ともに「災害時に道路が機能すること」「地域産業にとって利便性がよいこと」が多く挙げられた。

重視すべきと思われる項目

【問2】今回、対応方針案として概ねのルートを検討していますが、検討の際に特に重要だと思う項目を3つまで選んでください。

【図1】重視すべきと思われる項目



回答者数 N=14,985、総回答数 N=45,023

回答者数 N=308、総回答数 N=893

2-3. 第2回意見聴取の結果（アンケート調査）

13

- 重視すべき理由としては、走行性や安全性について「幅員の確保や安全対策の必要性」等について意見を頂いた。
- 災害時に関して、「内陸への避難道路の確保」等、避難ルートの確保に関する意見を頂いた。
- 地域産業に関して、「大型車の円滑な走行」等、物流ルートの確保に関する意見を頂いた。
- 救急医療に関しては「救急車両の円滑な走行」、観光は「主要観光地への円滑なアクセス」等について意見を頂いた。

【問3】 問2でチェックした項目に対する具体的意見について、ご自由にお書きください。（自由回答）

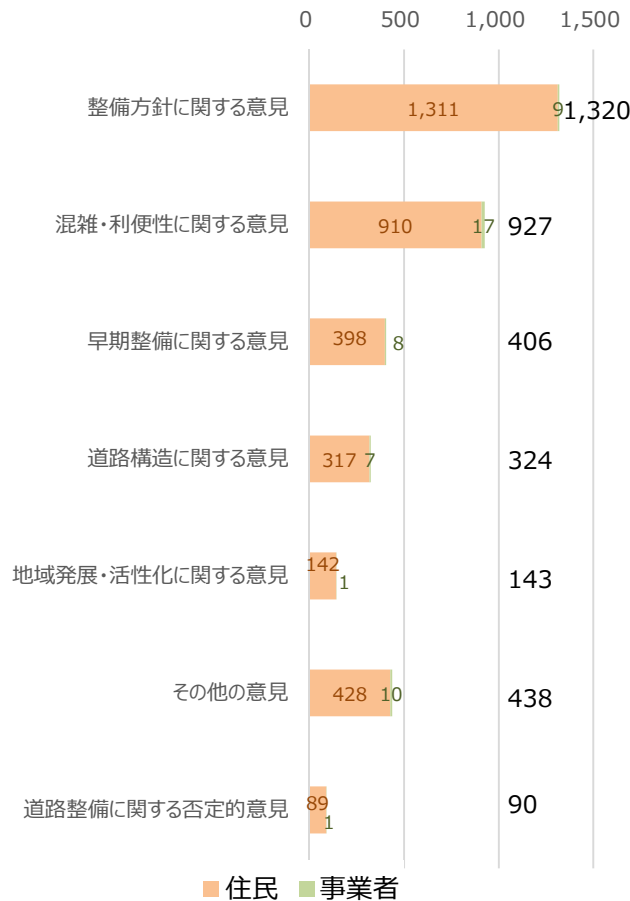
項目	主な意見の具体例
道路の走行性や安全性を確保 【1,439件】（住民:1,408件 事業者:31件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蛇田・広渕付近が特に道路が狭く、自転車走行の方が居る場合凄く気を使うので歩道の検討も考えて欲しい。 ・ イオン(蛇田地区)から須江(しらさぎ台)までの道が狭く、たびたび民家にも車両事故の影響があるため改善を進めてもらいたい。 ・ 丸井戸交差点周辺は、道幅が狭く沿道施設からの出入りが多いため、安全対策に重点を置いてほしい。
災害時に道路が機能する 【722件】（住民：710件 事業者：12件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害時（津波・河川氾濫）に石巻方面から大崎方面に逃げる道路が少なすぎるし、狭すぎる。 ・ 災害時の沿岸部から内陸部への迅速な避難の際に重要な交通インフラとなるので、動線には配慮が必要。 ・ 近年の災害の頻度、規模が増大している中、道路ネットワークの寸断は命を奪いかねない。道路整備を進めていくことは必須。
地域産業にとって利便性がよい 【382件】（住民：363件 事業者：19件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ トレーラーなどの大きさと浜江場(蛇田地区)あたりが狭すぎて通れないと思う。 ・ 物流の面において内陸とのつながりができ、地域産業の復興に貢献すると思う。 ・ R108号の広渕地区は特車が通行するには、一部狭いので産業には不可なので広い道路にしてほしい。
整備に関する費用が安い 【316件】（住民：310件 事業者：6件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ石巻地区も災害復旧に時間と費用もかかります。幾らかでも軽減出来れば良いかと思う。 ・ 人口減少、税収の先細りもあり、費用を抑えた工事を希望する。 ・ 地域産業・地元住民へのある程度の利便性を求め、費用を安くおさえ、財政への負担を軽くするのが、一つの手段かと思う。
医療施設へ早く行ける 【254件】（住民:252件 事業者:2件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行ける医療施設は都市部に比べ、限られているので、スムーズに行けるに越した事はない ・ 一車線道路なのでトラック等が走ると救急車両の走行が困難である。 ・ 走行環境の悪い道路(線形不良・幅員狭小)では、救急搬送等に問題を起こしかねない。
集落の分断など土地利用への影響が少ない 【173件】（住民：172件 事業者：1件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のコミュニティは今後ますます大切になってくるので分断される事は避けたい。 ・ 対象区間で、圃場整備が行われている。本換地に向けて作業を進めているので極力影響がないように願いたい。
地形の改変に伴う自然環境への影響が少ない 【92件】（住民：91件 事業者：1件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地盤などの影響で災害が起きやすくなるかなど、生態系の変化なども十分に検討して欲しい。 ・ 個性ある街づくりや地域活性化のためにも、自然環境や街並景観に最大限配慮が必要。
主要な観光地へスムーズに行ける 【87件】（住民:85件 事業者:2件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石巻を活気づけるには市内や観光地へスムーズに行ける事も重要。 ・ 石巻市には石ノ森漫画館などの主要な観光地があるが、内陸側からのアクセスに乏しい気がする。 ・ 所要時間が短いことはもちろん、信号が少ないなどスムーズに走れることが観光スポットを選定するにあたっての重要な要素となる。

2-3. 第2回意見聴取の結果（アンケート調査）

○主な意見として「整備方針」に対する意見が多く、バイパス整備や現道拡幅整備のメリット・デメリットなどについて意見が寄せられている。
 ○このほか、「混雑・利便性」「早期の整備必要性」や車線数や歩道の整備等「道路構造」について意見が寄せられている。

【問2】 選択肢以外のことで、重要だと思われることがあれば「9.その他」に○をして、内容をご記入ください。（自由回答）

【図1】その他重視すべきと思うこと



合計：回答者数 N=2,923、総意見数 N=3,648
 住民：回答者数 N=2,877、総意見数 N=3,595
 事業者：回答者数 N=46、総意見数 N=53

【表1】その他重要だと思うこと

分類	主な意見
整備方針に関する意見 【1,320件】（住民：1,311件、事業者：9件）	整備区間に関する意見 76件 ・ 北村交差点から河南支所を過ぎるところまで延ばしてほしい。 案①全線バイパス案の肯定的意見 439件 ・ 道路が直線で道幅も確保できスムーズに通行できるため、災害時にも良いと思う。 案②全線バイパス案(港アクセス考慮)の肯定的意見 22件 ・ 畳石交差点で3つのルートを選択できる点が良いと思います。 案③現道拡幅+バイパス併用案の肯定的意見 494件 ・ 蛇田地区の現道拡幅、歩道整備により、走行性と安全性を確保することに賛成。 案①全線バイパス案の否定的意見 37件 ・ 石巻市役所、石巻市街地方面へ遠回りになり、実際の車・人の流れに合わないと思う。 案②全線バイパス案(港アクセス考慮)の否定的意見 26件 ・ 道路の利便性が最も重要だと思う。案②も県道石巻鹿島台色麻線とのアクセスが悪い。 案③現道拡幅+バイパス併用案の否定的意見 19件 ・ 女川・河北等広域圏での利便性向上が期待できるため、石巻女川ICを起点にすべき。
混雑・利便性に関する意見 【927件】（住民：910件、事業者：17件）	・ 石巻市中央～大崎へ幹線道路がなく、常に渋滞しているため108号線の整備が重要。 ・ 比較的交通量が多い道路だが、片側一車線のため混雑しているとスムーズに流れない印象。 ・ 石巻地区の幹線道路は、常態的に渋滞が発生している。地域産業の発展や災害時の機能性向上のための道路建設を希望。
早期整備に関する意見 【406件】（住民：398件、事業者：8件）	・ 道路が狭く安全性に問題あり、早急に着手すべき。 ・ 朝、夕の交通ラッシュの緩和の為、早めの完工をお願いしたい。 ・ 沿岸部と内陸部の利便性のため着手、開通が早いこと。
道路構造に関する意見 【324件】（住民：317件、事業者：7件）	・ 県道四車線を延長することにより混雑の解消が計られ走行性の安全性を確保出来る。 ・ 道幅を広く、電柱がなく、歩道が整備されることを望む。 ・ 蛇田・広瀬付近が特に道路が狭く自転車走行の方が居る場合凄く気を使うので歩道の検討も考えて欲しい。
地域発展・活性化に関する意見 【143件】（住民：142件、事業者：1件）	・ 石巻市内への移動をスムーズに行えれば経済の活性化、住みやすい街作りにも役立つ。 ・ 隣接県、東北圏のつながりが無いと地域産業、経済活動に影響が出てくる。
その他の意見(工事の影響、今後の道路整備等) 【438件】（住民：428件、事業者：10件）	・ 混雑が今でもひどいので軽減してほしい。工事中により混雑するのはとても困る。 ・ 酒田～石巻間高規格道路の意義づけ道路として、今後の整備を希望。
道路整備に関する否定的意見 【90件】（住民：89件、事業者：1件）	・ 財政が悪化しているのにお金のかかる事業をしないで欲しい。 ・ 人口も減る中で過大な投資をするべきでない。最大のネックになっている広瀬交差点の右左折さえ解消できればよい。

2-4. 第2回意見聴取の結果（企業・関係機関ヒアリング）

15

- 企業・関係機関ヒアリングでは、対策案により期待される効果や配慮すべき視点に関する意見を頂いた。
- 幅員狭小に関する意見や、走行性・安全性に関して蛇田地区の発展に伴う交通課題に関する意見を頂いた。
- 観光、産業、災害に関して、市街地方面への結びつきに関する意見を頂いた。

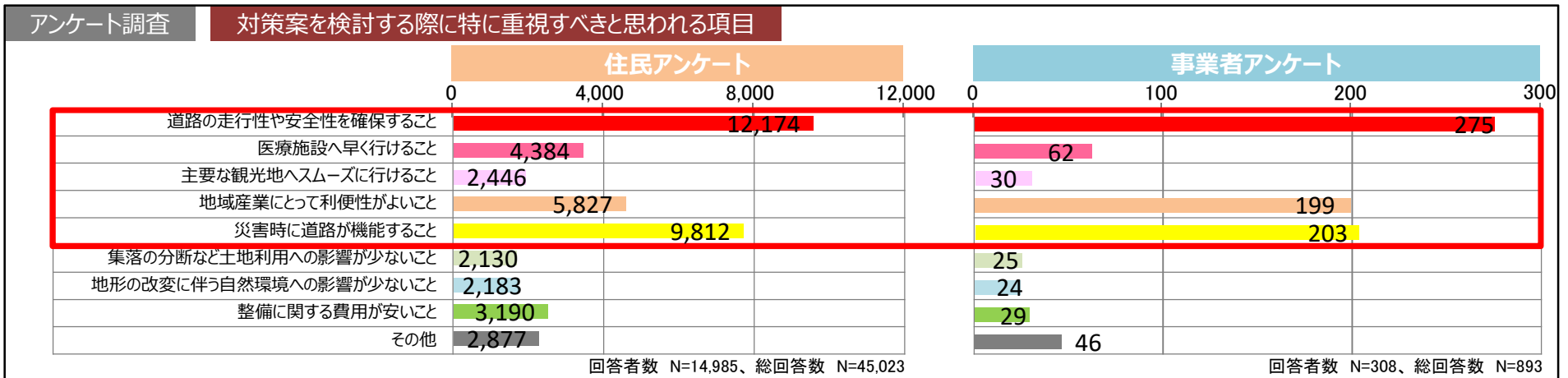
【表1】企業・関係機関ヒアリングの主な意見

項目	主な意見
道路の走行性や安全性を確保（60件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蛇田地区は大型商業施設や外食産業が多く集積された。このため、商圏が拡大し、北側や西側からの来客が増えてきている。このため、道路混雑がみられるようになった。（商工関連団体） ・ 河南IC方面から広洲方面へ向かう際、車線減少のため、合流に慣れたドライバーは第1車線を走行するが、慣れていないドライバーは第1車線への合流が遅れることがあり、円滑性に問題がある。（教育機関） ・ 道幅が狭い。歩道が無く、車道を歩行者や自転車が往来するので、道路混雑や安全面でも課題がある。とくに、浜江場郵便局（蛇田地区）付近が、両側に民家が直近に立ち並んでおり、走行するのが難しい。（運送関連業者） ・ 現道拡幅で、沿道出入りの車両の影響や歩行者・自転車とのすれ違い、バス乗降時の安全性が確保されることが期待。（バス事業者）
災害時に道路が機能する（45件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地方面に緊急出動することを想定した場合、国道108号が現在の狭い状態では、道路寸断リスクが大きいと感じる。道路が通行できないと、須江産業用地が資機材搬出等の後方支援の役割を果たすことはできない。（建設関連業者） ・ 震災後の資材の運搬は、沿岸部のルートを利用できない状況であったので、資材の搬入は、内陸部のルートを利用した。三陸道や国道45号もダメージを受け、利用できたのは国道108号くらいであった。被災時に内陸方面とのルートが確保されるのは重要である。（製造関連業者）
地域産業にとって利便性がよい（37件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地と須江産業用地を結ぶ産業の交通は多く、須江～市街地のアクセスが向上することが産業支援につながる。石巻魚市場（石巻市街地方面）は、内陸方面との繋がりが強化されれば、販路拡大に寄与すると思う。（自治体） ・ 菰継交差点～豊石交差点間は、対向車がいると乗用車でさえ追い越すのは難しく、大型車同士だと、すれ違うのも一苦労。徐行に近い速度で走行せざるをえない。市街地方面から会社に戻ってくるときに一番のネックであり、ドライバーにとって大変な道路。（建設関連業者）
主要な観光地へスムーズに行ける（23件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内陸方面から市街地方面へは、国道108号を案内している。主要幹線道路であるし、観光客にとってわかりやすく、こちらからも案内しやすい。但し、実際は道路幅員が狭いので、案内された観光客が不安になることも考えられる。（宿泊施設） ・ 石巻の中心市街地は、元気いちばや漫画館、田代島への渡船、整備中の復興祈念公園など集客力のある観光資源が集中。お店や雇用も多く地域経済を引っ張るエンジンなので、アクセスしやすくしてほしい。大崎方面は国道108号を案内しているが、急カーブや狭い区間があり、不慣れな観光客にとって危険。（観光団体）
医療施設へ早く行ける（18件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広洲交差点付近の幅員が狭く、車両渋滞時は追い越しが困難（特に直角曲がりの広洲交差点付近）。赤信号で停止している車を超越す際、狭いので、対向車がいると追越しづらい。電柱が車道にはみ出していることも阻害要因である。（消防機関）
集落の分断など土地利用への影響が少ない（5件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ バイパス整備によって、極端に土地を改変することは避けた方がよい。（医療機関）
地形の改変に伴う自然環境への影響が少ない（5件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 圃場整備などを最近終えたところだと思うので、すぐ農地をいじるのはいかなものかと思う。（建設関連業者）
整備に関する費用が安い（5件）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国民の税金を使用して道路整備を行うため、費用対効果が大になるようにする必要がある。（トラック協会）

2-5. 第2回意見聴取の結果 とりまとめ

16

- 住民、事業者アンケートの結果、対策案を重視すべき項目として、「走行性や安全性」「災害時の道路機能」「地域産業の利便性」「医療施設へのアクセス性」「観光地へのアクセス性」に寄与する道路が求められている。
- 企業・関係機関ヒアリングの結果、「通学路の安全性確保」や「幅員狭小による課題」に対する配慮、「市街地との結びつき」といったルート検討に必要な視点が得られた。



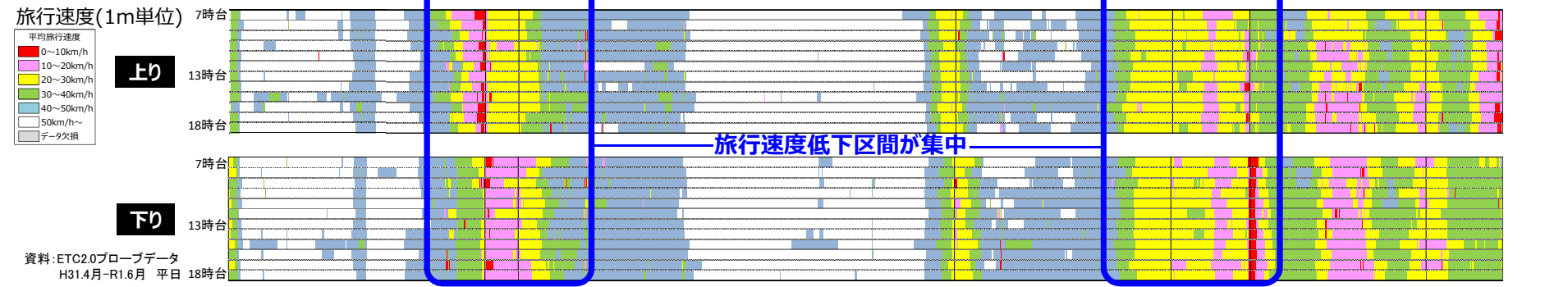
企業・関係機関ヒアリング調査	具体的なルートを検討する際に配慮すべき視点
<p>■ 走行性や安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蛇田地区は大型商業施設や外食産業が多く集積。商圈が拡大し、北側や西側の来客が増え、道路混雑。【商工関連団体】 ・広濑小周辺は大型車の交通量も多く、広濑交差点では歩行者との安全性に懸念。【教育機関】 	<p>■ 医療連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広濑交差点付近の幅員が狭く、車両渋滞時は追い越しが困難（特に直角曲がりの広濑交差点付近）。【消防機関】
<p>■ 観光</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石巻中心市街地は集客力のある観光資源が集中。大崎方面は国道108号を案内しているが、急カーブや狭い区間があり、不慣れな観光客にとって危険。【観光団体】 	<p>■ 産業拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菰継交差点～豊石交差点間は大型車同士だとすれ違うのも一苦労。市街地方面から会社に戻ってくるときに一番のネック。ドライバーにとって大変な道路である。【主要企業】
<p>■ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地方面に緊急出動することを想定した場合、国道108号が現在の狭い状態では、道路寸断リスクが大きい。【主要企業】 	<p>以上の結果より、意見が最も多かった『安全・安心』及び地域の声で新たな視点として問題・課題があがった『産業と観光』において、地域の状況を踏まえた課題の再整理を次頁以降で実施</p>

2-6. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（安全・安心）

○蛇田地区と広淵地区では、幅員狭小や歩道未整備等の道路構造上の課題に加え、集落や商業施設が集積。
 ○他の区間に比べ、死傷事故率が高く、旅行速度の低下も顕著であり、地域の交通にとって課題となっている。



幅員狭小区間(W<8m)		■		■		■		■		■		■	
歩道設置	上り	なし	あり	なし	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
■: 歩道なし	下り	あり	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし	あり	なし	あり	なし



2-6. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（安全・安心）

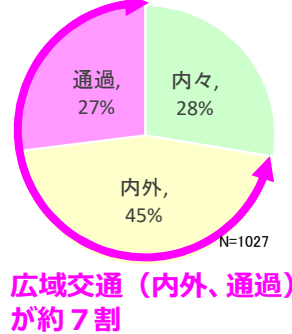
- 蛇田地区は、商業施設集積に伴う道路混雑や、車線減少に伴う円滑性や安全性の低下が指摘されている。
- 広淵地区は、道路混雑や安全確保の観点から、生活交通と通過交通の分散が必要と指摘されている。



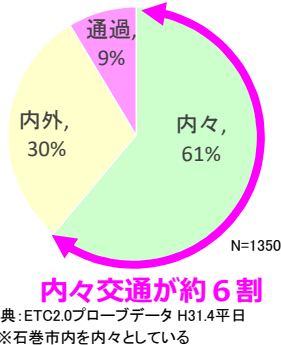
【図2】広淵地区周辺の集落の点在



【図3】国道108号広淵地区走行車両のOD分布



【図4】国道108号蛇田地区走行車両のOD分布



【図5】蛇田地区周辺の商業施設の集積



広淵小周辺は、登下校の時間帯での交通量が多く、非常に混雑。しかも、広淵交差点は大型車が走行するので安全性に懸念。歩行者との通行空間の分散が必要。(R2.3ヒアリング結果・教育機関)

道幅が狭く、自転車の通行空間が無いので、大型車と接触しそうで危険。一般車は周辺住民の交通が多いという印象。生活交通と通過交通の分散が必要。(R2.3ヒアリング結果・医療機関)



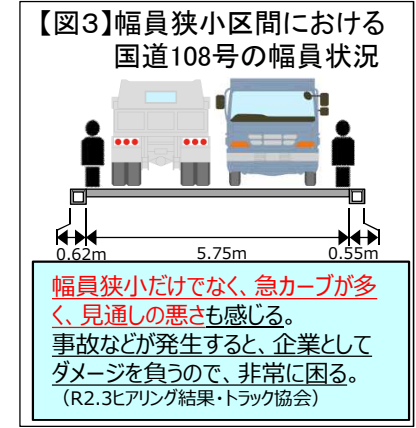
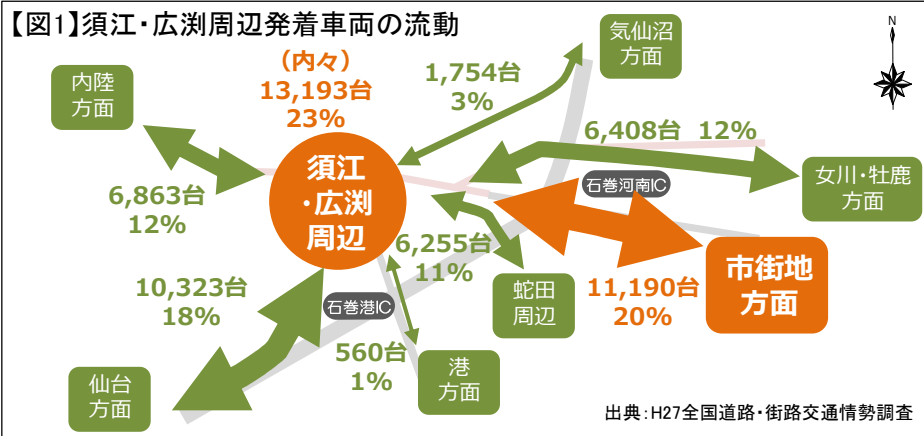
復興新市街地の造成により、蛇田の商業施設周辺の混雑が増加したことから道路拡幅により混雑解消してほしい。(R2.3住民意見)

イオン(蛇田地区)から広淵方面にかけて急激に道幅が狭くなる上、通勤時間帯は自転車も混ざり非常に危険。(R2.3住民意見)



2-6. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（産業）

- 国道108号に面する須江産業用地は、石巻の内陸型産業拠点として整備され、現在16件の事業所が稼働中。
- 内陸方面や港方面だけでなく、須江・広淵周辺発着車両は市街地方面に多くみられ、ヒアリング結果から国道108号が主要経路であるが、狭隘な畳石交差点～菰継交差点間を走行する必要があり、円滑な走行の妨げとなっている。
- 菰継交差点以東は、石巻鹿島台色麻線の利用が多く、4車線区間の連続性確保が課題となっている。

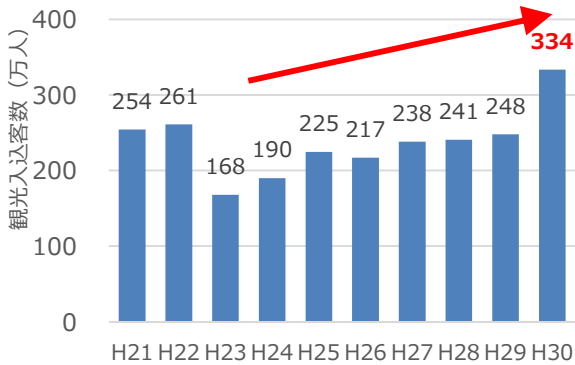


2-6. 意見聴取を踏まえた課題の再整理（観光）

○石巻市の観光入込客数は近年増加傾向となっており、なかでも市街地の観光地の入込客が多く、イベント開催や復興祈念公園の供用等、地域の観光産業の中心地として、今後も発展が期待されている。

○内陸方面の観光施設と市街地を結ぶ周遊ルートは国道108号を案内しているが、対象区間では急カーブや幅員が狭い等の道路構造による原因で著しい速度低下が生じており、円滑性・走行性の面で課題となっている。

【図1】石巻市の観光入込客数の推移



出典：石巻市HP

【表1】石巻市街地の主要施設の入込客数(H30)

施設名	入込客数(H30)
いしのまき元気いちば	105万1千人
石ノ森萬画館	18万7千人
石巻市観光物産情報センター	8万0千人
日和山	7万3千人

出典：石巻市HP

【表2】石巻市街地の主要イベントの入込客数

イベント名	実施時期	入込客数
石巻川開き祭り	毎年7～8月	18万8千人(H30)
いしのまき大漁まつり	毎年10月	7万2千人(H30)
Reborn Art Fes	H29/7～9・R1/8～9	23万3千人(H29-30)

出典：石巻市HP

【表3】国道108号の区間別平均速度(12時間平均)

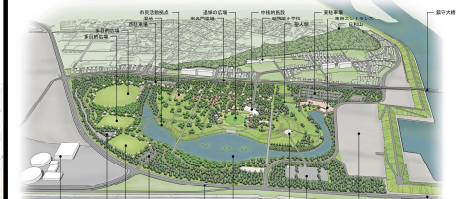
算出内容	北村～広瀨	広瀨～畳石	畳石～浜江場	浜江場～南久林	南久林～菰継	全区間
→	44.5	40.9	43.5	30.8	24.1	39.7
←	46.4	38.8	40.1	30.6	21.5	38.5

30-40 km/h
30km/h以下

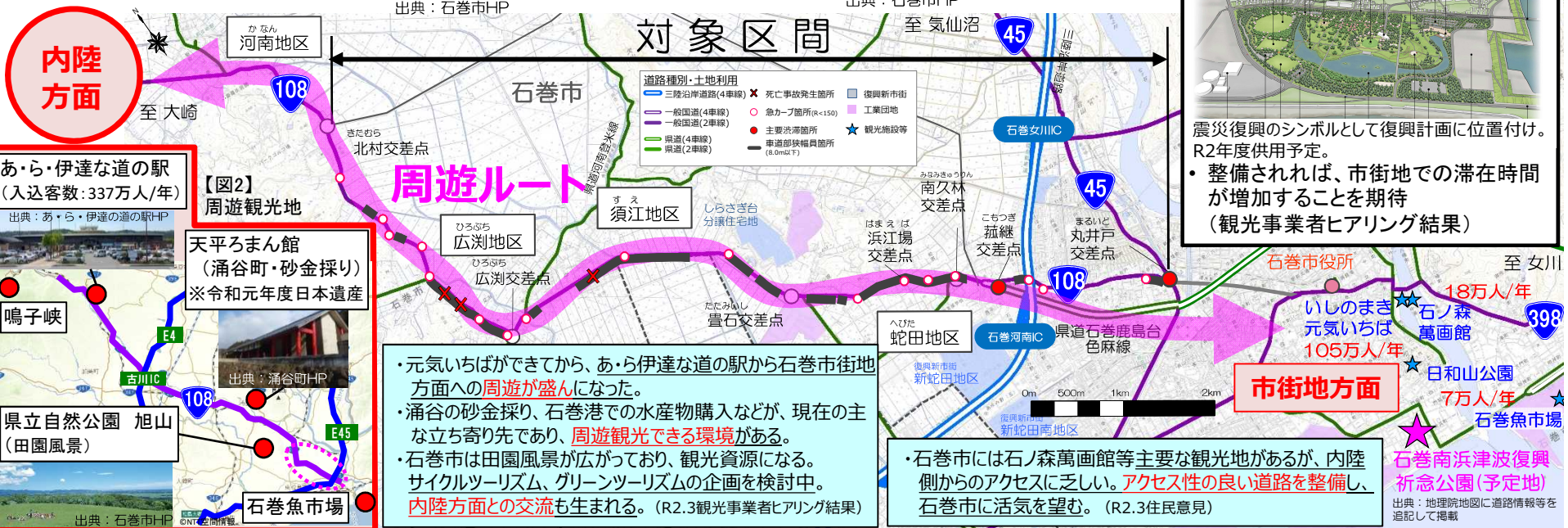
出典：ETC2.0プローブ情報 R2.1全日

速度低下の著しい理由
 ・2車線⇄4車線への構造絞り込み
 ・接続する県道からの流入 など

【図3】石巻南浜津波復興祈念公園の概要



震災復興のシンボルとして復興計画に位置付け。R2年度供用予定。
 ・整備されれば、市街地での滞在時間が増加することを期待（観光事業者ヒアリング結果）



【図2】周遊観光地



3. 対応方針（原案）の検討

3-1. ルート帯案の検討（政策目標と対策案）

- 当該地域の道路交通状況や、地域の課題等をふまえ政策目標を設定し、これを達成するための機能を有する対策案を複数設定。
- 対策案を検討する上では、地域の土地利用および自然環境、コストなどに配慮。
- 政策目標を達成するための対策案について主要なコントロールポイントに配慮し3案を設定。

※コントロールポイントとは、道路上の利便性を考慮して通過すべき地点や、社会的影響が大きく回避すべき建物等

○当該地域の政策目標

- 地域・道路の状況と課題
- 地域の将来像
- 住民や企業等への意見聴取結果

政策目標

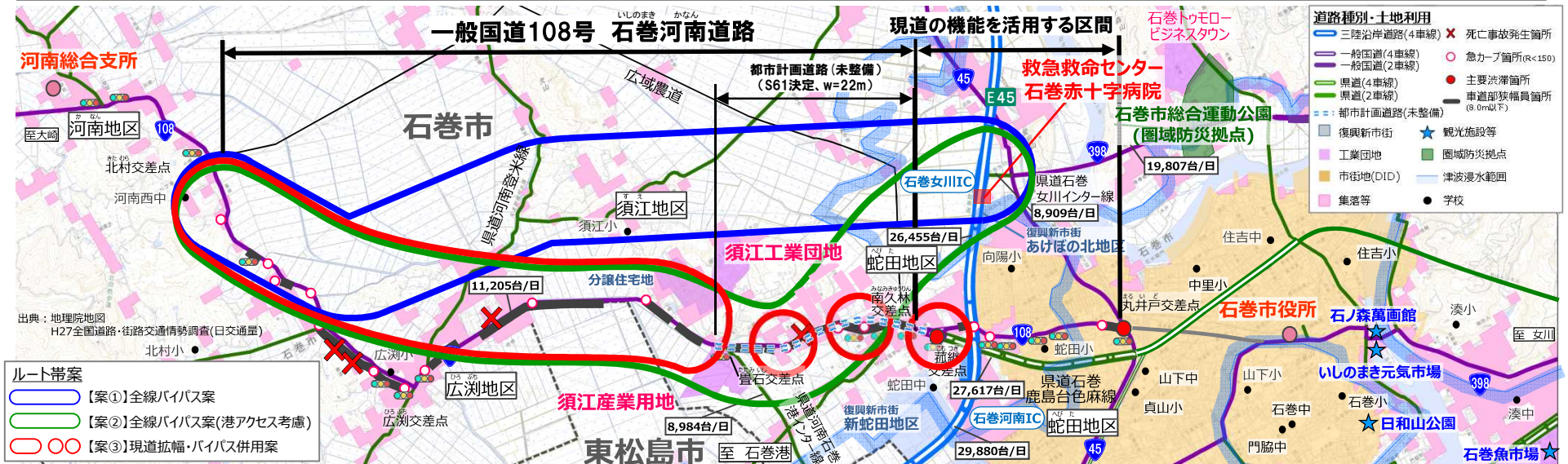
- 以下の項目を目的に、安全安心で円滑な走行空間を確保するとともに、物流、救急搬送を支援する道路ネットワークの確保
- 幹線道路としての走行性及び安全性の確保
 - 三次救急医療施設へのアクセス性強化
 - 観光交流を支えるネットワークの確保
 - 地域産業を支える幹線道路の確保
 - 防災拠点への輸送確実性

○対策案を検討する上での配慮事項

- 土地利用への影響（集落の分断・影響）
- 自然環境への影響（地形の改変）
- 経済性（整備に関する費用）

政策目標を達成するための考えられる対策案

- 【案①全線バイパス案】 全線バイパスにより、石巻女川ICに最短で接続する案
- 【案②全線バイパス案（港アクセス考慮）】 石巻港へのアクセスを考慮し途中で県道に接続、さらに石巻女川ICにバイパスで接続する案
- 【案③現道拡幅・バイパス併用案】 石巻港へのアクセスを考慮しバイパスで県道に接続、さらに石巻河南ICに向け現道拡幅する案



3-1. ルート帯案の検討（複数案の比較・評価）

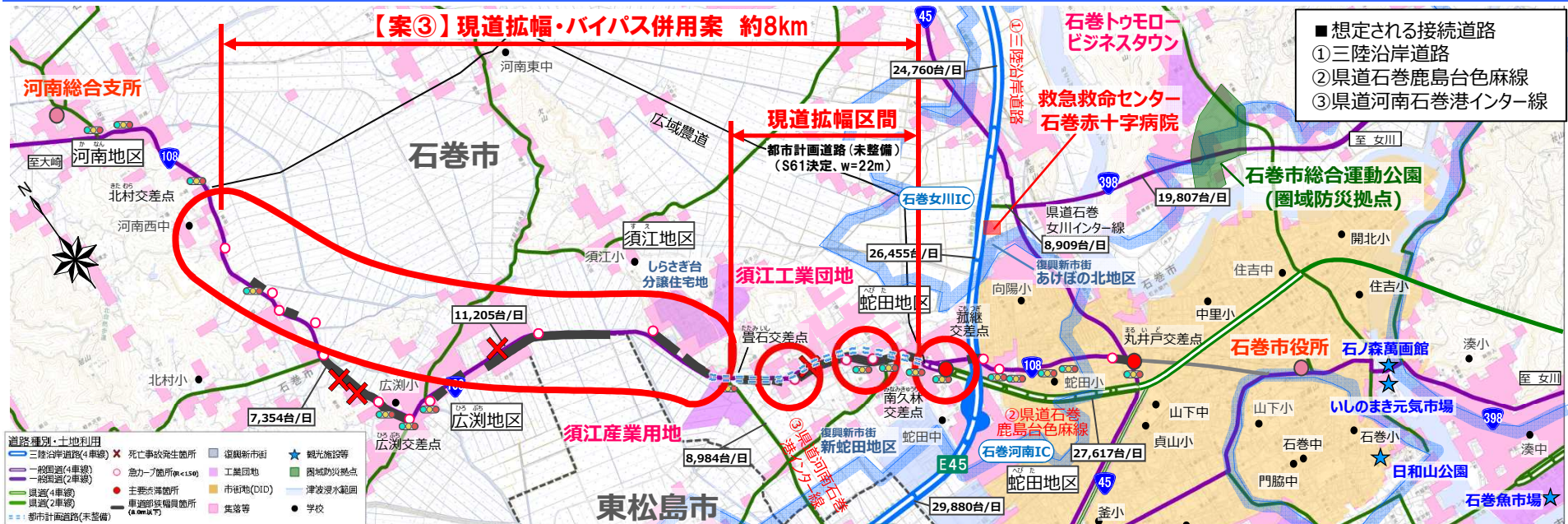
○比較評価の結果、地域の意見聴取で重視すべき項目として政策目標5項目に関する意見が多く寄せられ、案③は案①・②に比べ「走行性及び安全性」「観光交流」「地域産業」の面で優れ、「医療」においては一定程度を満足し、防災は他案同様に優れている。
 ○結果として、案③は政策目標で総合的に最も優れている事項が多い。

【表1】複数案の比較・評価

評価軸		【案①】全線バイパス案 約8km ＜設計速度60km/h＞	【案②】全線バイパス案 (港アクセス考慮)約9km ＜設計速度60km/h＞	【案③】現道拡幅・バイパス併用案 約8km ＜設計速度60km/h＞
車線数		2車線	2車線	2～4車線
ルート概要		・全線バイパスにより、石巻女川ICに最短で接続する案	・石巻港へのアクセスを考慮し途中で県道に接続、さらに石巻女川ICにバイパスで接続する案	・石巻港へのアクセスを考慮しバイパスで県道に接続、さらに石巻河南ICに向け現道拡幅する案
政策目標	①幹線道路としての走行性及び安全性の確保	走行性及び安全性の向上 ・バイパス整備により、現道との交通分担を図り、走行性と安全性を確保	○ ・バイパス整備により、現道との交通分担を図り、走行性と安全性を確保	○ ・広淵地区をバイパス整備、蛇田地区を現道拡幅・歩道整備により整備し、走行性と安全性を確保
	②三次救急医療施設へのアクセス強化	三次救急医療施設への搬送経路と所要時間短縮 ・石巻赤十字病院に直結し、所要時間が短縮	◎ ・石巻赤十字病院に直結し、所要時間が短縮	◎ ・三沿道を介してのアクセスで、所要時間はやや短縮
	③観光交流を支えるネットワークの確保	主要観光地への連絡性 ・石巻市街地の主要観光地へのアクセスに変化はない	△ ・石巻市街地の主要観光地へのアクセスに変化はない	△ ・石巻市街地の主要観光地へのアクセスが向上し、広域移動に対応
	④地域産業を支える幹線道路の確保	産業拠点(石巻港・須江地区)とのアクセス性 ・石巻港や須江地区とのアクセス性に変化はない	△ ・石巻港インター線に直結し、内陸方面から港や須江地区とのアクセス性は向上 ・市街地方面へのアクセスに変化はない	○ ・石巻港インター線に直結し、港や須江地区とのアクセス性は向上
	⑤防災拠点への輸送確実性	内陸方面からの防災拠点への輸送確実性 ・バイパス整備により圏域防災拠点への輸送確実性を確保	◎ ・バイパス整備により圏域防災拠点への輸送確実性を確保	◎ ・バイパスと現道機能強化(拡幅)により、三沿道を介し圏域防災拠点への輸送確実性を確保
配慮すべき事項	○土地利用への影響	集落の分断・影響 ・全線バイパスにて整備され、集落を回避 ・支障家屋数：約30軒*	◎ ・全線バイパスにて整備されるが、集落の分断が生じる ・支障家屋数：約60軒*	△ ・現道拡幅区間には既に都市計画決定されている区間があり、活用することで影響は少ない ・支障家屋数：約40軒*
	○自然環境への影響	地形の改変 ・全線バイパスにて整備されるため、地形の改変に伴う影響がある	△ ・全線バイパスにて整備されるため、地形の改変に伴う影響がある	△ ・バイパスにて整備する区間が最も短く、地形の改変に伴う影響は少ない
	○経済性*	整備に関する費用 約260～310億円	— 約230～280億円	— 約170～220億円

* 現時点での概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により数量・金額が変更となる場合がある。

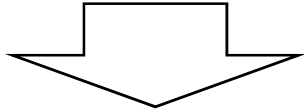
3-2. 対応方針（原案）の検討



沿線住民・事業者への意見聴取、企業・関係機関等へのヒアリングの主な意見

- 【ルート帯案について】
- アンケート調査では、政策目標である「**走行性や安全性**」「**災害時の道路機能**」「**地域産業の利便性**」「**医療施設へのアクセス性**」「**観光地へのアクセス性**」に関する意見が多く寄せられた。
 - ヒアリング調査では、「**蛇田地区における幅員狭小や復興に伴う交通課題**」「**市街地方面への結びつき**」といったルート検討に必要な視点が得られた。

政策目標の達成見込み及びルート帯選定にあたって重視すべき項目について、意見聴取結果を踏まえて評価

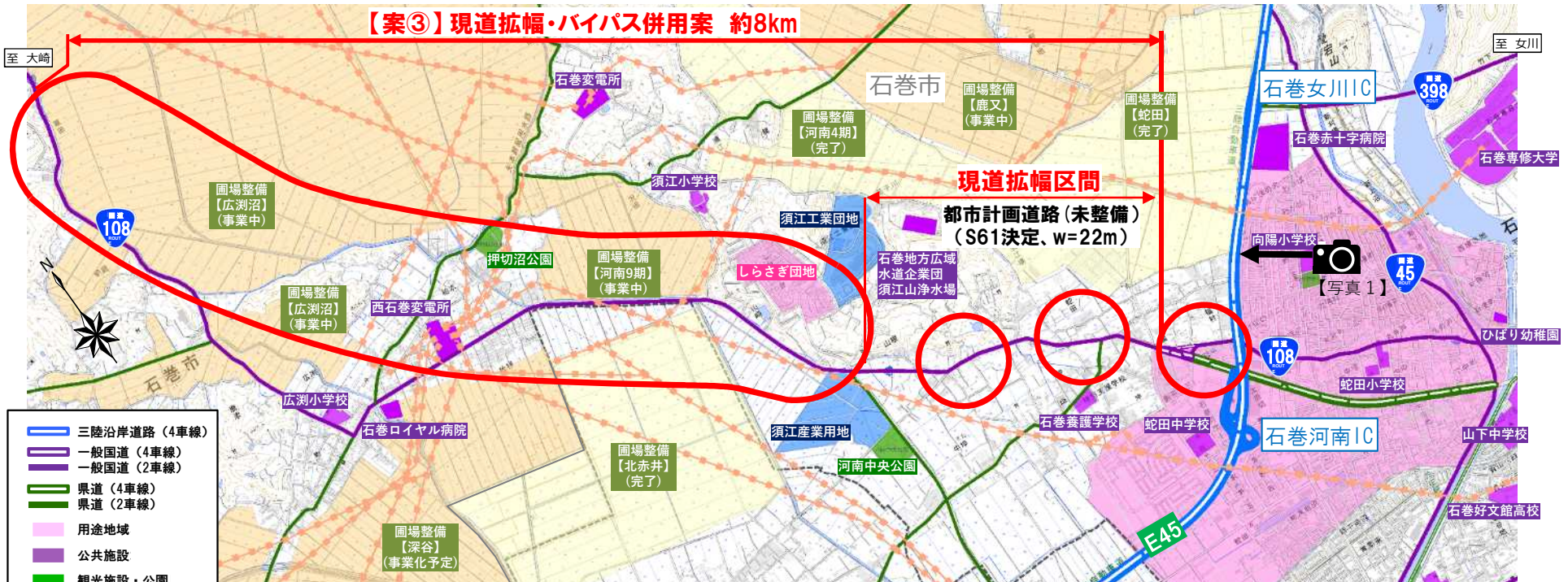


ルート帯案の考え方

- 地域の課題を解決するための政策目標である「**幹線道路としての走行性及び安全性の確保**」「**三次救急医療施設へのアクセス性強化**」「**観光交流を支えるネットワークの確保**」「**地域産業を支える幹線道路の確保**」「**防災拠点への輸送確実性**」に総合的に寄与し、対応策として最も優れている**案③現道拡幅・バイパス併用案**とする。

3-2. 対応方針（原案）の検討

- コントロールポイントとして設定された施設等（学校・病院等）、その他事項（重要な動植物等）を回避し、市街地方面へのアクセスに配慮した上で、概略ルート・構造の検討を進める。
- 現道拡幅区間は、既存の都市計画道路を活用することで、土地利用への影響を極力少なくする。



【写真1】対象区間の土地利用状況

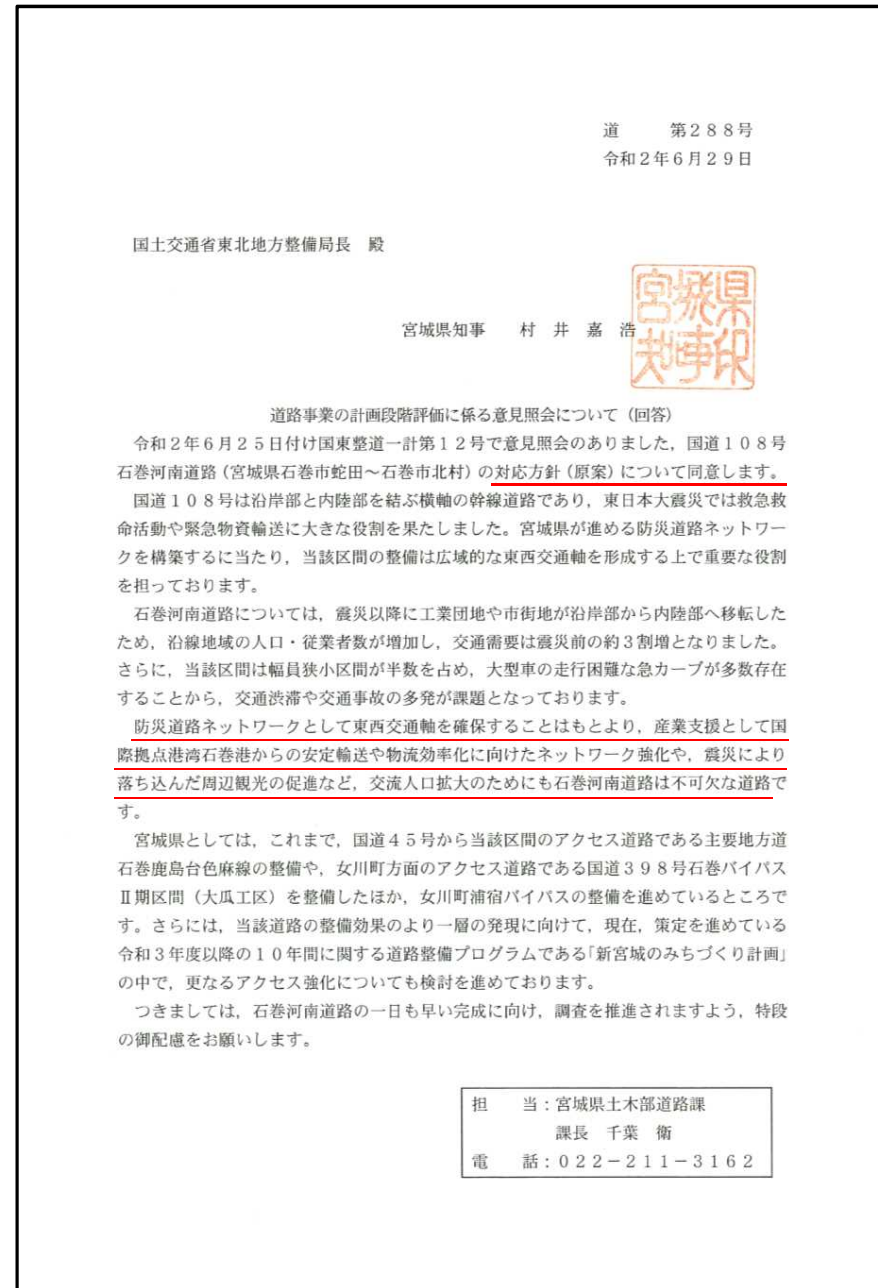


出典：地理院地図 0 500 1,000m

4. 自治体への意見照会結果

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
宮城県	<p>国道108号石巻河南道路（宮城県石巻市蛇田～石巻市北村）の<u>対応方針（原案）</u>について同意します。</p> <p>国道108号は沿岸部と内陸部を結ぶ横軸の幹線道路であり、東日本大震災では救急救命活動や緊急物資輸送に大きな役割を果たしました。宮城県が進める防災道路ネットワークを構築するに当たり、当該区間の整備は広域的な東西交通軸を形成する上で重要な役割を担っております。</p> <p>石巻河南道路については、震災以降に工業団地や市街地が沿岸部から内陸部へ移転したため、沿線地域の人口・従業者数が増加し、交通需要は震災前の約3割増となりました。さらに、当該区間は幅員狭小区間が半数を占め、大型車の走行困難な急カーブが多数存在することから、交通渋滞や交通事故の多発が課題となっております。</p> <p><u>防災道路ネットワークとして東西交通軸を確保することはもとより、産業支援として国際拠点港湾石巻港からの安定輸送や物流効率化に向けたネットワーク強化や、震災により落ち込んだ周辺観光の促進など、交流人口拡大のためにも石巻河南道路は不可欠な道路です。</u></p>



道 第288号
令和2年6月29日

国土交通省東北地方整備局長 殿

宮城県知事 村井嘉浩



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和2年6月25日付け国東整道一計第12号で意見照会のありました、国道108号石巻河南道路（宮城県石巻市蛇田～石巻市北村）の対応方針（原案）について同意します。

国道108号は沿岸部と内陸部を結ぶ横軸の幹線道路であり、東日本大震災では救急救命活動や緊急物資輸送に大きな役割を果たしました。宮城県が進める防災道路ネットワークを構築するに当たり、当該区間の整備は広域的な東西交通軸を形成する上で重要な役割を担っております。

石巻河南道路については、震災以降に工業団地や市街地が沿岸部から内陸部へ移転したため、沿線地域の人口・従業者数が増加し、交通需要は震災前の約3割増となりました。さらに、当該区間は幅員狭小区間が半数を占め、大型車の走行困難な急カーブが多数存在することから、交通渋滞や交通事故の多発が課題となっております。

防災道路ネットワークとして東西交通軸を確保することはもとより、産業支援として国際拠点港湾石巻港からの安定輸送や物流効率化に向けたネットワーク強化や、震災により落ち込んだ周辺観光の促進など、交流人口拡大のためにも石巻河南道路は不可欠な道路です。

宮城県としては、これまで、国道45号から当該区間のアクセス道路である主要地方道石巻鹿島台色麻線の整備や、女川町方面のアクセス道路である国道398号石巻バイパスⅡ期区間（大瓜工区）を整備したほか、女川町浦宿バイパスの整備を進めているところで、さらには、当該道路の整備効果のより一層の発現に向けて、現在、策定を進めている令和3年度以降の10年間に関する道路整備プログラムである「新宮城のみちづくり計画」の中で、更なるアクセス強化についても検討を進めております。

つきましては、石巻河南道路の一日も早い完成に向け、調査を推進されますよう、特段の御配慮をお願いします。

担当：宮城県土木部道路課
課長 千葉 衛
電話：022-211-3162

5. 対応方針（案）のまとめ

1. 道路整備の必要性

<p>【理由】</p> <p>政策目標を実現できる道路整備を検討 【政策目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 幹線道路としての走行性及び安全性の確保 ■ 三次救急医療施設へのアクセス性強化 ■ 観光交流を支えるネットワークの確保 ■ 地域産業を支える幹線道路の確保 ■ 防災拠点への輸送確実性 	➔	<p>【地域の意見聴取結果】</p> <table border="1"> <tr> <td>国道108号の課題</td> <td>・「安全・安心」、「医療連携」、「周遊観光」、「地域産業支援」、「緊急輸送」について道路利用者の多くが問題と認識。</td> </tr> <tr> <td>道路整備の必要性</td> <td>・住民や企業など、回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。</td> </tr> <tr> <td>ルート検討において重視すべき事項</td> <td>・地域が感じているルート検討において重視すべき項目は「走行性や安全性」「災害時の道路機能」「地域産業の利便性」「医療施設へのアクセス性」「観光地へのアクセス性」が多い。 ・更に、「蛇田に地区における幅員狭小や復興に伴う交通課題」「市街地方面への結びつき」といった必要な視点が得られた。</td> </tr> <tr> <td>自治体の意見</td> <td>・宮城県から案に賛成するとともに、早期事業化を要望する意見をいただいている。</td> </tr> </table>	国道108号の課題	・「安全・安心」、「医療連携」、「周遊観光」、「地域産業支援」、「緊急輸送」について道路利用者の多くが問題と認識。	道路整備の必要性	・住民や企業など、回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。	ルート検討において重視すべき事項	・地域が感じているルート検討において重視すべき項目は「走行性や安全性」「災害時の道路機能」「地域産業の利便性」「医療施設へのアクセス性」「観光地へのアクセス性」が多い。 ・更に、「蛇田に地区における幅員狭小や復興に伴う交通課題」「市街地方面への結びつき」といった必要な視点が得られた。	自治体の意見	・宮城県から案に賛成するとともに、早期事業化を要望する意見をいただいている。
国道108号の課題	・「安全・安心」、「医療連携」、「周遊観光」、「地域産業支援」、「緊急輸送」について道路利用者の多くが問題と認識。									
道路整備の必要性	・住民や企業など、回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。									
ルート検討において重視すべき事項	・地域が感じているルート検討において重視すべき項目は「走行性や安全性」「災害時の道路機能」「地域産業の利便性」「医療施設へのアクセス性」「観光地へのアクセス性」が多い。 ・更に、「蛇田に地区における幅員狭小や復興に伴う交通課題」「市街地方面への結びつき」といった必要な視点が得られた。									
自治体の意見	・宮城県から案に賛成するとともに、早期事業化を要望する意見をいただいている。									

2. 対応方針（案）

● 計画及びルート帯案

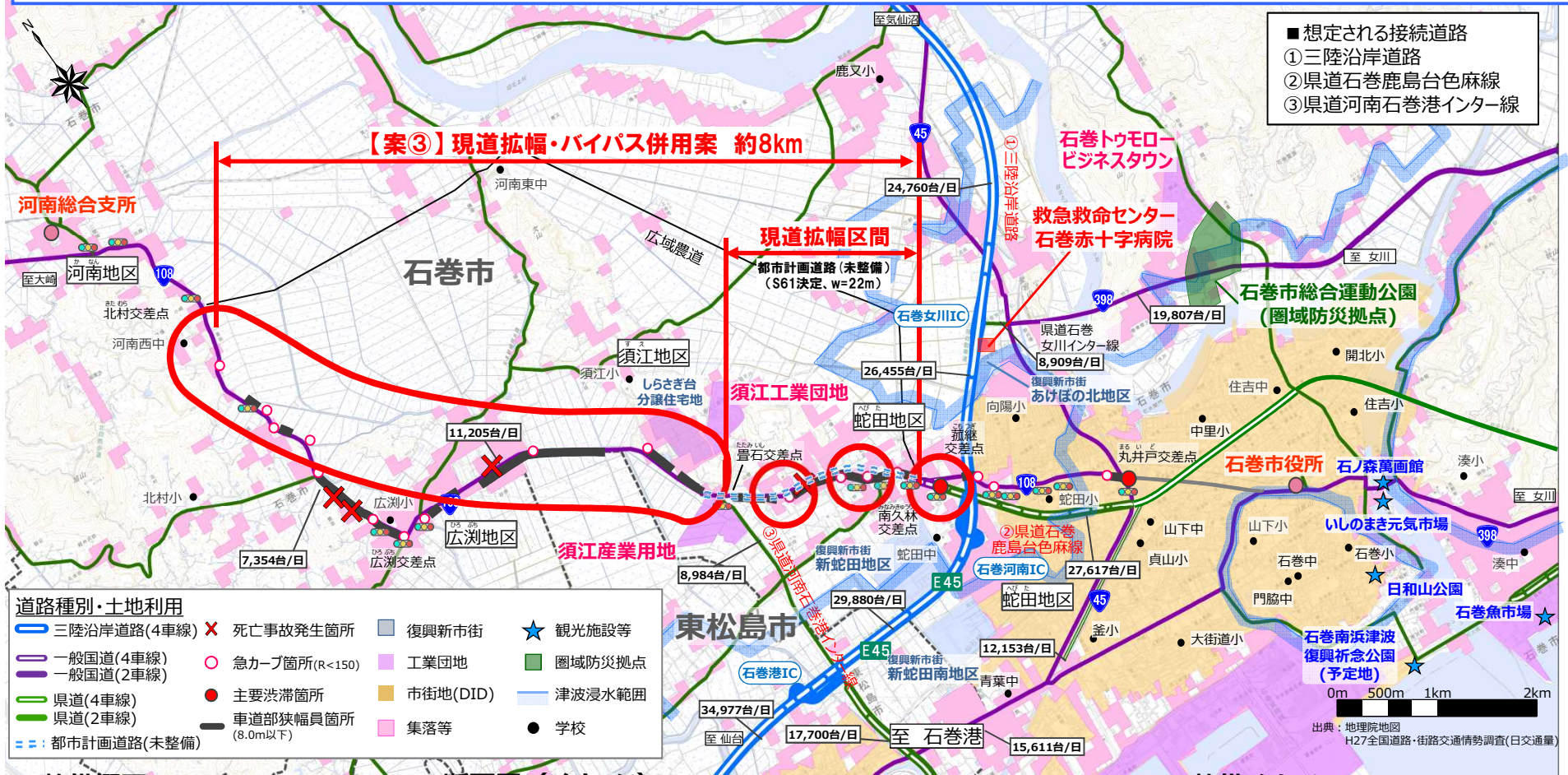
地域の課題を解決するための政策目標に寄与し、対応策として最も優れている【案③】現道拡幅・バイパス併用案とする。

【理由】

- 地域の課題を解決するための政策目標（「幹線道路としての走行性及び安全性の確保」「三次救急医療施設へのアクセス性強化」「観光交流を支えるネットワークの確保」「地域産業を支える幹線道路の確保」「防災拠点への輸送確実性」）を達成。
- 「蛇田地区における幅員狭小や復興に伴う交通課題」「市街地方面への結びつき」といった地域の意見聴取結果で得られた地域のニーズに応えられる。

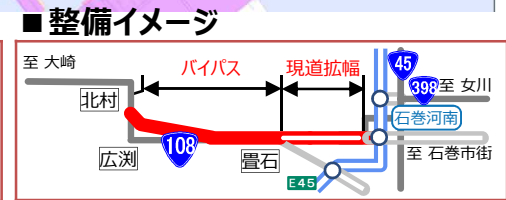
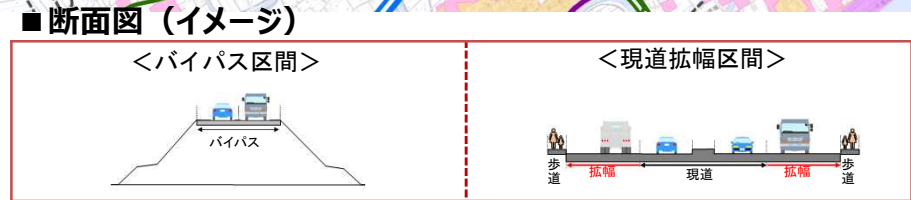
5-2. 対応方針（案）まとめ

○対象区間を石巻港へのアクセスを考慮しバイパスで県道に接続、さらに石巻河南ICに向け現道拡幅する案
 ○広瀨地区は道路交通の機能分担を図り、蛇田地区は交通容量の拡大により主要幹線道路としての機能を確保。
 併せて石巻港及び石巻市街地へのアクセス向上を図る案。



■ 整備概要

延長	約8km
構造	土工等
コスト	約170~220億円
設計速度	60km/h



- 想定される接続道路
- ① 三陸沿岸道路
 - ② 県道石巻鹿島台色麻線
 - ③ 県道河南石巻港インター線

出典：地理院地図 H27全国道路・街路交通情勢調査(日交通量)